

(様式第9)

東北病医第306号
平成21年10月2日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

東北大学病院長
里 見

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成 年度の業務に関して報告します。

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	26,58 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	348人	202人	545.0人	看護業務補助	73人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	人	人	理学療法士	18人	臨床検査技師	85人
薬剤師	76人	1人	76.7人	作業療法士	5人	衛生検査技師	3人
保健師	人	人	人	視能訓練士	10人	その他	人
助産師	67人	1人	67.7人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	945人	21人	959.4人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	5人	1人	5.7人	栄養士	人	その他の技術員	95人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	255人
管理栄養士	9人	0人	0.0人	診療放射線技師	56人	その他の職員	39人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	988 人	24 人	1,012人
1日当たり平均外来患者数	2,176 人	1 人	2,177人
1日当たり平均調剤数		1,196	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31燐—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、視血の手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はピオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	19人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 先進医療で上の表にあげられていないもの
先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類 (医科)	承認	取扱い患者数
肺癌患者検体のEGFR遺伝子変異検索に関する研究	無	103人
大量出血を伴う手術の麻酔管理	無	40人
乳癌のHER2遺伝子増幅の有無に関するFISH検査	無	37人
軟骨部腫瘍、脳腫瘍に対するFISHによる悪性遺伝子検査	無	60人
覚醒下脳外科手術	無	7人
18FフルオロデオキシグルコースによるPET検査	無	3,425人
高精度生体計測法 (超音波生体顕微鏡) : 動脈硬化症および血管炎における動脈壁内部の組織ならびに機能変化の非侵襲的高精度計測	無	200人
内視鏡的胆管結石除去術	無	49人
超音波内視鏡検査	無	525人
体外衝撃波による膵石粉碎術	無	8人
内視鏡的粘膜切開剥離法	無	189人
高度進行肝細胞癌に対する集学的動注化学放射線療法	無	5人
肝癌に対する動脈塞栓下経皮的ラジオ波焼灼療法	無	50人
肝癌に対するリアルタイムバーチャルソノグラフィ	無	70人
自己血回収器具を用いた術中自己血回収	無	209人
マイクロサージェリーを利用した各種血管付自家・複合組織移植	無	101人
組織拡張器による再建手術	無	2人
Nuss法による漏斗胸手術	無	6人
手の先天異常に対する手術加療	無	11人
切断指・肢再接合術	無	5人
唇顎口蓋裂に対するチームアプローチによる集学的治療	無	113人

先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
唇顎口蓋裂による上顎低形成に対する顎矯正手術	無	16人
高度上顎低形成患者に対する上顎仮骨延長術による治療	無	8人
片側小顔面症に対する下顎枝仮骨延長術	無	1人
気道狭窄に対する内ステント留置術	無	3人
婦人科癌におけるセンチネルリンパ節同定	無	47人
自家末梢血幹細胞移植術	無	8人
自家末梢血幹細胞移植術（採取・調整・保存）	無	5人
自家末梢血幹細胞移植術（分離・調整・保存）	無	10人
前立腺癌に対する強度変調放射線療法（IMRT）	無	33人
直線加速器による定位放射線治療	無	26人
強度変調照射法（IMRT）	無	38人
埋込型カテーテル・アクセスを用いた局所持続動注療法	無	5人
悪性黒色腫およびその他の皮膚癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	無	42人
遠隔病理診断（テレパソロジー）	無	229人
質量分析装置を用いた薬物動態解析（免疫抑制剤シロリムスの副作用）	無	2人
狭心症に対する体外衝撃波治療法	無	2人
急性心筋梗塞に対する体外衝撃波治療法	無	2人
下肢閉塞性動脈硬化症に対する体外衝撃波治療法	無	13人
精神病発症危険群に対する早期介入	無	60人
骨格筋電気刺激による筋力増強トレーニング	無	4人
放射免疫療法	無	2人
同種造血幹細胞移植	無	28人
WT1ペプチドワクチン治療	無	10人
腹腔鏡下膵体尾部切除術	無	1人

先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合	無	1人
血管腫硬化療法	無	16人
一絨毛膜双胎に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術	無	4人
近赤外線スペクトロスコピー（NIRS）を用いた精神科補助診断	無	10人
腸管不全症例に対する小腸移植	無	5人
腸管不全に対する多角的治療	無	7人
同種末梢血幹細胞移植術（分離・調整・保存）	無	6人

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	109人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	137人
・多発性硬化症	198人	・ウェゲナー肉芽腫症	13人
・重症筋無力症	184人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	138人
・全身性エリテマトーデス	481人	・多系統萎縮症	65人
・スモン	5人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	59人	・膿疱性乾癬	17人
・サルコイドーシス	256人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	73人	・原発性胆汁性肝硬変	102人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	232人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	122人	・特発性大腿骨頭壊死症	83人
・結節性動脈周囲炎	55人	・混合性結合組織病	52人
・潰瘍性大腸炎	531人	・原発性免疫不全症候群	29人
・大動脈炎症候群	83人	・特発性間質性肺炎	80人
・ビュルガー病	42人	・網膜色素変性症	164人
・天疱瘡	35人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	156人	・原発性肺高血圧症	48人
・クローン病	420人	・神経線維腫症	37人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	7人
・パーキンソン病関連疾患	283人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	28人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	9人
・後縦靭帯骨化症	47人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	5人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	345		
剖検の状況	剖検症例数	38 例	剖検率 6.1 %

(様式第11-1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
低出力体外衝撃波を用いた慢性心不全に対する非侵襲性治療法の開発	伊藤健太	医学系研究科循環器先端医療開発学	千円 1,950	(補) 日本学術振興会 委
イオン輸送体の機能発現規定因子の同定とその制御機構による高血圧の新たな治療法	種本雅之	腎高血圧内分泌科	千円 2,990	(補) 科学研究費補助金 委 日本学術振興会
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の確立	石澤 賢一	血液免疫科	千円 1,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金 委
間葉系細胞を用いた再生不良性貧血に対する細胞療法の開発	張替 秀郎	血液免疫病学分野	千円 2,000	(補) 科学研究費補助金 委
細胞膜トランスポーターの定量解析を基盤とした造血器腫瘍に対する個別療法の確立	張替 秀郎	血液免疫病学分野	千円 8,000	(補) 科学研究費補助金 委
制御性T細胞による樹状細胞の機能抑制における責任遺伝子の同定と臨床応用	大西 康	血液免疫科	千円 900	(補) 科学研究費補助金 委
平成20-22年度 基盤研究(C) 一般(20591945) 産婦人科学 「メタボリックシンドロームからみた子宮筋腫に対する新しい治療戦略」	武田卓	先進漢方治療医学講座	千円 3,500	(補) 日本学術振興会 委
「メタボリックシンドロームからみた子宮筋腫に対する新しい治療戦略」	武田卓	先進漢方治療医学講座	千円 500	(補) 沖中記念成人病研究所研究助成基金 委
思春期過敏性腸症候群の発症因子と長期予後に関する前向き調査	遠藤由香	診療内科	千円 1,300	(補) 科学研究費補助金 委
ヒスタミン拮抗薬d-マレイン酸クロルフェニラミンの過敏性腸症候群への効果の検討	相模泰宏	診療内科	千円 1,430	(補) 科学研究費補助金 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
「ストレス性下痢」一治療の新展開	町田貴胤	診療内科	千円 1,950	補 科学研究費補助金 委
摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、天気と予後に関する総合的研究	本郷道夫	診療内科	千円 600	補 厚労省班会議 委
JACCRO GC05 初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—CPT—11単独療法VS TS—1+CPT—11併用化学療法の無作為化比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験	石岡千加史 他	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 1,625	補 特定非営利活動法人 日本がん臨床試験 推進機構 (JACCRO) 委
医薬開発統括学術分野創生と人材育成拠点 今井 潤	石岡千加史 下平秀樹	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 500	補 21世紀COEプログラムCRESCENDO 委
クルクミン類縁体の新規作用機作研究	柴田浩行	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 550	補 (株)セラバ リユース 委
新規クルクミン類縁体を用いた新しい多発性骨髄腫の薬物療法の開発の研究に対する助成	柴田浩行 他	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 1,500	補 国際骨髄腫財団 堀之内朗記念研究 委
乳癌の患者の予後判定のための遺伝子検査方法の開発	石岡千加史 他	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 495	補 ファルコバイオシ ステムズ総合研究 所 委
新規クルクミン誘導体による浸潤能、転移能抑制活性に基づいた体に優しい抗癌剤の治療の開発	石岡千加史 柴田 浩行	加齢研・癌化学療法研究分野 (腫瘍内科)	千円 500	補 財団法人宮城県予 防医学協会 委
非侵襲性微小組織診断システムの導入による糖尿病治療のメディカルイノベーション	里見 進 (代表者)	移植・再 建・内視鏡 外科	千円 12,300	補 文部科学省(日本 学術振興会) 委
血栓組織化促進による大動脈瘤破裂の治療	佐藤 成 (代表者)	移植・再 建・内視鏡 外科	千円 2,000	補 文部科学省(日本 学術振興会) 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
CdSeナノクリスタルを用いた食道癌組織のリアルタイムイメージング	亀井 尚 (代表者)	移植・再建・内視鏡外科	千円 1,100	補 文部科学省(日本学術振興会) 委
実学的医工学教育・研究拠点育成	里見 進 (代表者)	移植・再建・内視鏡外科	千円 79,389 (間接経費を含む)	補 厚生労働省 委
新規血管新生阻害因子Vasohibinの子宮内膜癌における臨床応用の検討	吉永 浩介	産婦人科	千円 500	補 文部科学省科学研究費 委
男性不妊とART後の流産におけるインプリント遺伝子のDNAメチル化の解析	鈴木 史彦	産婦人科	千円 900	補 文部科学省科学研究費 委
微小環境を含んだ乳癌および子宮体癌におけるエストロゲンシグナル活性化機構の解析	松本 光代	産婦人科	千円 1,000	補 文部科学省科学研究費 委
ケモカイン遺伝子のRNA干渉による子宮癌リンパ節転移のリアルタイム解析	新倉 仁	産婦人科	千円 1,100	補 文部科学省科学研究費 委
骨盤自律神経節マッピングに基づいた神経温存術式の開発	永瀬 智	産婦人科	千円 800	補 文部科学省科学研究費 委
妊娠母体血管の内皮機能と弾性変化からみる子宮内環境悪化とその修復の可能性	千坂 泰	産婦人科	千円 1,400	補 文部科学省科学研究費 委
アンドロゲンシグナリング修飾による精子成熟機構の解析	鈴木 吉也	産婦人科	千円 1,400	補 文部科学省科学研究費 委
新たな内分泌治療薬開拓に向けたエストロゲン受容体標的遺伝子の同定と機能解析	宇都宮 裕貴	産婦人科	千円 1,300	補 文部科学省科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
着床前診断におけるヒト割球除去が次世代に与える影響の検討	寺田 幸弘	産婦人科	千円 1,500	補 文部科学省科学研究費 委
生殖補助医療（ART）に用いる乏精子症患者精子のゲノムインプリントの解析	林 千賀	産婦人科	千円 1,350	補 文部科学省科学研究費 委
癌の転移制御に向けた、子宮肉腫をモデルとする上皮間葉移行関連遺伝子の探求	豊島 将文	産婦人科	千円 1,350	補 文部科学省科学研究費 委
ヒト・トロフォブラスト幹（TS）細胞を用いた胎盤分化過程における分子機構の解明	齋藤 昌利	産婦人科	千円 1,350	補 文部科学省科学研究費 委
母体栄養障害による胎児脳の成人疾患へのプログラミングとその解除に関する実験的研究	岡村 州博	産婦人科	千円 3,300	補 文部科学省科学研究費 委
網羅的エピゲノム解析技術システムを用いた卵巣癌化機構の解明について	有馬 隆博	産婦人科	千円 3,600	補 文部科学省科学研究費 委
小胞輸送分子 Hrs-koマウスを用いた、ユビキチンを癌治療標的とする基礎的研究	八重樫 伸生	産婦人科	千円 5,900	補 文部科学省科学研究費 委
精子星状体機能不全に対する治療法の開発	村上 節	産婦人科	千円 1,100	補 文部科学省科学研究費 委
メタボリックシンドロームと子宮内膜癌；PPAR γ リガンドによる内分泌治療の有効性	伊藤 潔	産婦人科	千円 1,000	補 文部科学省科学研究費 委
卵巣癌患者における癌幹細胞の同定法の確立と、その治療応用に向けた戦略的機能解析	八重樫 伸生	産婦人科	千円 900	補 文部科学省科学研究費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	太田 英伸	産婦人科	千円 14,500	補 厚生労働省科学研究費 委
早期介入に向けた早期精神病の病相特異的病態の解明：脳構造、認知機能、症候学の検討	松本和紀	精神科	千円 1,820	補 文部科学省 科学研究費補助金 委
早期精神病の予防、早期治療および病態解明に関する臨床的研究	松岡洋夫	精神神経学分野	千円 4,000	補 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 委
思春期精神病理の疫学と精神疾患の早期介入方策に関する研究	松本和紀	精神科	千円 500	補 厚生労働省 科学研究費補助金 委
社会認知の包括的な評価方法の確立に関する臨床研究（松岡洋夫）	松岡洋夫	精神神経学分野	千円 1,700	補 文部科学省 科学研究費補助金 委
光受容体メラノプシンを制御する光フィルターを用いた早産児発達障害を予防する次世代人工保育器の開発	太田英伸	周産母子センター	千円 39,000	補 平成20年度 厚労科研費（医療技術実用化総合研究事業） 委
人工胎盤装置に応用できる膜型人工肺の開発	松田 直	周産母子センター	千円 2,000	補 平成20年度 シーズ発掘試験（発掘型） 委
人工胎盤を開発するためのヒツジ胎仔を用いた基礎的検討	三浦雄一郎	周産母子センター	千円 1,100	補 平成20年度 科研費 若手研究（B） 委
偏光液晶型バンドパス・光フィルターを用いた次世代人工保育器の開発	三浦雄一郎	周産母子センター	千円 2,000	補 平成20年度 若手研究者による臨床応用研究推進プログラム（東北大学病院） 委
表皮におけるヒアルロン酸合成の制御	大谷朋之	皮膚科	千円 2,340	補 文部科学大臣 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
p.53類似遺伝子p51/p63とMafによる表皮細胞の制御機構	奥山隆平	皮膚科	千円 2,080	補 文部科学大臣 委
マウス接触皮膚炎モデルでの炎症発症機序におけるASK-1の関与	相場節也	皮膚科	千円 2,340	補 文部科学大臣 委
ハプテンによる樹状細胞活性化のメカニズムの解析	水声政人	皮膚科	千円 2,210	補 文部科学省 委
新しい視機能予後予測システム構築に関する研究	國方彦志	眼科	千円 2,080	補 科学研究費 委
人工万能幹細胞を用いた角膜内皮・上皮細胞創生の研究	横倉 俊二	眼科	千円 2,730	補 科学研究費 委
異種動物由来材料およびフィーダー細胞を用いないウサギ培養角膜上皮シートの作製	久保田 亨	眼科	千円 1,755	補 科学研究費 委
角膜内皮再生治療法の開発	西田 幸二	眼科	千円 5,720	補 科学研究費 委
新規新生血管抑制薬と徐放デバイスの開発	西郷 陽子	眼科	千円 1,742	補 科学研究費 委
緑内障の神経保護治療の開発	中澤 徹	眼科	千円 1,170	補 科学研究費 委
聴性脳幹インプラントを用いた聴能再獲得に関する研究	小林俊光	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 25,800	補 特別教育研究経費 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
周波数変換帯域雑音音声を用いた人工内耳聴覚に関する基礎的研究	川瀬哲明	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 900 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C) 委
外有毛細胞の音受容に関するアクチン関連蛋白と遺伝難聴DFNA20/26の研究	香取幸夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,200 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C) 委
両側下丘への中脳インプラントに関する基礎的研究～聴覚再獲得を目指して～	日高浩史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 500 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C) 委
聴覚末梢器官への新しいドラッグデリバリー～ナノテクノロジーによる治療の可能性～	山内大輔	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,000 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B) 委
前庭水管拡大症新規モデルの開発	宮崎浩充	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,550 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B) 委
喉頭癌発生に関わる葉酸受容体の研究	渡邊健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 500 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B) 委
ポストシークエンス時代における老人難聴研究の新戦略	工藤貴之	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 720 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (S) 委
培養耳管細胞を用いた耳管分泌機能の解明	大島猛史	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,300 千円	補 文部科学省科研費 基盤 (C) 委
内リンパ嚢における水吸収機能の解明	中谷和弘	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 1,500 千円	補 文部科学省科研費 若手研究 (B) 委
ナノテクノロジーと超音波を用いた高周波超音波三次元画像診断・分子導入システムの開発	志賀清人 (分担)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	千円 40,755 千円	補 厚生労働省科学研究費補助金 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
気刺激とボツリヌストキシンの併用による神経調整的治療体系の確立	関 和則	医学系研究科・運動機能再建学	千円 6,890	補 委 文部科学省科学研究費
総合デジタル (ISDN) 方式を用いたテレパソロジー (遠隔病理診断) の実用化の検討	渡辺 みか	病理部	千円 527	補 委 石巻市立病院
遠隔病理診断装置の実用化	渡辺 みか	病理部	千円 1,113	補 委 気仙沼市立病院
乳癌患者におけるHER-2蛋白、ホルモン受容体をはじめとする、予後因子に関する免疫組織学的検討	渡辺 みか	病理部	千円 6,710	補 委 東北公済病院
プロテオミクス・メタボロミクス手法による生体内小分子の新規機能解析	眞野成康	薬剤部	千円 1,500	補 委 日本学術振興会 (基盤研究 (C))
胆汁酸シグナルのプロテオミクス	後藤順一	薬剤部	千円 8,000	補 委 日本学術振興会 (基盤研究 (B))
トランスポーター輸送のリアルタイムイメージング	山口浩明	薬剤部	千円 1,400	補 委 日本学術振興会 (若手研究 (B))

計77

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Shock Waves. 2008;17:449-455	Extracorporeal cardiac shock wave therapy for ischemic heart disease.	下川 宏明	循環器病態学分野
Antivirus Research	Procyanidins in Butanol extract of Cinnamon Cortex enhance Transferrin receptor expression and inhibit SARS-CoV infection	服部俊夫	感染症科
<i>Eur J Endocrinol</i>	Physiologic variance of corticotrophin affects diagnosis in adrenal vein sampling.	<u>Tanemoto M</u> , Suzuki T. Abe M, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>Clin J Am Soc Nephrol</i>	Hemodynamic Index of Atheromatous Renal Artery Stenosis for Angioplasty.	<u>Tanemoto M</u> , Suzuki T. Abe M, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>J Am Soc Nephrol</i> .	Hemoglobin Is Expressed by Mesangial Cells and Reduces Oxidant Stress.	Nishi H, Inagi R, Hideki Kato, <u>Tanemoto M</u> , Kojima I, Son D, Fujita T, and Nangaku M	腎高血圧内分泌科
<i>J Biol Chem</i> .	MAGI-1a functions as a scaffolding protein for the distal renal tubular basolateral K ⁺ channels.	<u>Tanemoto M</u> , Toyohara T, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>Hypertens Res</i> .	Angiographic index for angioplasty-treatable atheromatous renal artery stenosis.	<u>Tanemoto M</u> , Abe M, Uruno A, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
<i>J Bone Miner Metab</i>	Hypocalcemia in a patient with severe hypertension and surgically induced relative hypoparathyroidism	<u>Tanemoto M</u> , Uruno A, Abe T, Ito S.	腎高血圧内分泌科
Int. J. Hematol. 89: 332-341, 2008	Phase 1/2 clinical study of dasatinib in Japanese patients with chronic myeloid leukemia or Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia	石澤 賢一	血液免疫科
Int. J. Hematol. 89: 342-347, 2008	A retrospective analysis of bortezomib therapy for Japanese patients with relapsed or refractory multiple myeloma: $\beta 2$ -microglobulin associated with time to progression	大口 裕人	血液免疫科
Cancer Sci,100(1): 158-164, 2009	Japanese phase II study of 90Y-iburitumomab tiuxetan in patients with relapsed or refractory indolent B-cell lymphoma	石澤 賢一	血液免疫科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci, 100(2): 357-362, 2009	The safety and efficacy of rasburicase (SR29142) in a Japanese phase II study	石澤 賢一	血液免疫科
Atherosclerosis	Carotid arterial elasticity is a sensitive atherosclerosis value reflecting visceral fat accumulation in obese subjects.	鴫田 藍、石垣 泰、岡 芳知 他8名	分子代謝病態学分野
Obstetrics & Gynecology	Successful management of a leiomyomatosis peritonealis disseminata with aromatase inhibitor	Takeda, T. Masuhara, K. Kamiura, S	先進漢方治療医学講座
Journal of Alternative and Complementary Medicine	Effectiveness of the Herbal Medicine, Daikenchuto, for Radiation-Induced Enteritis	Takeda T, Kamiura S, Kimura T.	先進漢方治療医学講座
Gynecol Obstet Invest	Relationship between metabolic syndrome and uterine leiomyomata: a case-control study	Takeda, T. Sakata, M. Isobe, A. Miyake, A. Nishimoto, F. Ota, Y. Kamiura, S. Kimura, T.	先進漢方治療医学講座
Hum Reprod	Dual repressive effect of angiotensin II-type 1 receptor blocker telmisartan on angiotensin II-induced and estradiol-induced uterine leiomyoma cell proliferation	Isobe, S. Takeda, T. Sakata, M. Miyake, A. Yamamoto, T. Minekawa, R. Nishimoto, F. Okamoto, Y. Walker, L. Kimura, T.	先進漢方治療医学講座
Gynecol Endocrinol.	Elevated level of plasma vascular endothelial growth factor after gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for leiomyomata	Takeda T, Osuga K, Miyake A, Wakabayashi A, Morishige K, Kimura T.	先進漢方治療医学講座
J Neurochem	DHA disrupts in vitro amyloid β 1-40 fibrillation and concomitantly inhibits amyloid levels in cerebral cortex tissue of Alzheimer's disease model rats.	Hashimoto M., Shahdat MH., Yamashita S., Katakura M., Tanabe Y., Fujiwara H., Gamoh S., Miyazawa T., Arai H., Shimada T., Shido O.	先進漢方治療医学講座
Circulation Journal	Short Cardiac Iodine-123-Metaiodobenzylguanidine Imaging Protocol in Heart Failure	Takanori Arimoto, Hiroyasu Sukekawa, Mutsuo Harada, Shin Takayama, Eiichiro Ikeno, Kouichi Nisugi, Yasuchika Takeishi and Isao Kubota	先進漢方治療医学講座
PACE	Electroanatomical Mapping in Partial Atrial Standstill for Visualization of Atrial Viability and a Suitable Pacing Site	TAKANORI ARIMOTO, M.D.*, HIROYASU SUKEKAWA, M.D.*, SHIN TAKAYAMA, M.D.*, EIICHIRO IKENO, M.D.*, YASUCHIKA TAKEISHI, M.D.†, and ISAO KUBOTA, M.D.	先進漢方治療医学講座
J. Physiol. Sci,	Changes in current detection threshold of three different frequencies of sine waves after compression-induced ischemia.	Hayashi Satoko, Uryu Noriko, <u>Watanabe Masashi</u> , Okada Kaoru, Kawakita Kenji	先進漢方治療医学講座

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical Oncology. 2009 Mar 20;27(9):1394-400. Epub 2009 Feb 17.	First-line Gefitinib for Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Patients Harboring Epidermal Growth Factor Receptor Mutations without Indication for Chemotherapy.	Akira Inoue, et al.	呼吸器内科
Mol Cell Biol 28: 7380-93 (2008)	Rapid Recruitment of BRCA1 to DNA Double-Strand Breaks Is Dependent on Its Association with Ku80.	Wei, L., Lan, L., Hong, Z., Yasui, A., <u>Ishioka, C.</u> , <u>Chiba, N.</u>	腫瘍内科
Cancer Sci 99: 324-32 (2008)	Prediction of breast cancer prognosis by gene expression profile of TP53 status.	<u>Takahashi, S.</u> , Moriya, T., Ishida, T., Shibata, H., Sasano, H., Ohuchi, N., <u>Ishioka, C.</u>	腫瘍内科
Proc Natl Acad Sci U S A 105: 13993-8 (2008)	Apoptotic function of human PMS2 compromised by the nonsynonymous single-nucleotide polymorphic variant R20Q.	Marinovic-Terzic, I., Yoshioka-Yamashita, A., <u>Shimodaira, H.</u> , Avdievich, E., Hunton, I. C., Kolodner, R. D., Edelman, W., Wang, J. Y.	腫瘍内科
Cancer Chemother Pharmacol 64: 361-9 (2008)	Phase II study of capecitabine and trastuzumab combination chemotherapy in patients with HER2 overexpressing metastatic breast cancers resistant to both anthracyclines and taxanes.	Ishida, T., Kiba, T., Takeda, M., Matsuyama, K., Teramukai, S., Ishiwata, R., Masuda, N., Takatsuka, Y., Noguchi, S., <u>Ishioka, C.</u> , Fukushima, M., Ohuchi, N.	腫瘍内科
Cancer Biol Ther 7: (2008)	Analysis of p53 mutation status in human cancer cell lines: a paradigm for cell line cross-contamination.	Berglund, H., Pawitan, Y., Kato, S., <u>Ishioka, C.</u> , Soussi, T.	腫瘍内科
臨床放射線 53:499-500 (2008)	特集 PET癌イメージングの現在と今後の展開 はじめに.	阿部由直, <u>石岡千加史</u>	腫瘍内科
medicina 45:1398-1401 (2008)	日常診療の中でどこまで悪性疾患の診断にせまれるか?	角道祐一, 石岡千加史:	腫瘍内科
第105回日本内科学会雑誌 97:114 (2008)	第105回日本内科学会講演会シンポジウム 1がん診療最前線司会者のことば.	石岡千加史, 高後裕:	腫瘍内科
癌と化学療法 35:1044-1052 (2008)	大学腫瘍内科のあり方.	<u>石岡千加史</u> , 西條康夫, 佐々木康綱, 白尾國昭, 柳原一広, 矢野聖二, 吉岡孝志	腫瘍内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 35:1261-1268 (2008)	乳癌と分子マーカー	石岡千加史	腫瘍内科
癌と化学療法 35:1039-1043 (2008)	シンポジウム開催・参加記 大学腫瘍内科の在り方に関するシンポジウム.	石岡千加史	腫瘍内科
癌と化学療法 35:391-396 (2008)	がんプロフェッショナル養成プランによるがん専門医療者の育成.	石岡千加史	腫瘍内科
平成19年度大学教育改革支援プログラム合同フォーラム記録集 302-315 (2008)	がんプロフェッショナル養成プラン分科会	益田典幸, 中川和彦, 石岡千加史, 今井浩三, 本田麻由美, 平岡眞寛, 内布敦子, 三浦公嗣	腫瘍内科
癌と化学療法 35:2330-2333 (2008)	電解質異常とその対応 (高Ca血症と低Na血症).	柴田浩行	腫瘍内科
Transplantation	SV40 Infection Associated With Rituximab Treatment After Kindney Transplantation in Nonhuman Primates	Takashi Maki, Angela Carville, Isaac E. Stillman, Kanetoshi Sato, Tetsuro Kodaka, Keisuke Minamimura, Norihiko Ogawa, Akira Kanamoto, Rita Gottschalk, Anthony P. Monaco, Amanda Marr-Belvin, Susan V. Westmoreland, and Prabhat Sehgal	移植・再建・内視鏡外科
Breast Cancer	In vivo single molecular imaging and sentinel node navigation by nanotechnology for molecular targeting drug delivery systems and tailor-made medicine	Motohiro Takeda, Hiroshi Tada, Hideo Higuchi, Yoshio Kobayashi, Masaki Kobayashi, Yuu Sakurai, Takanori Ishida, Noriaki Ohuchi	移植・再建・内視鏡外科
消化器外科	肝細胞癌の治療戦略 肝細胞癌の外科治療 肝移植	川岸直樹, 中村篤司, 岩根尊, 武田郁央, 宮城重人, 佐藤和重, 赤松順寛, 関口悟, 里見進	移植・再建・内視鏡外科
Transplantation	ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation: New Insights into Clinical Relevance	Naoki Kawagishi, Susumu Satomi	移植・再建・内視鏡外科
乳癌の臨床	マンモグラフィ検診の国際比較	大内憲明, 河合賢朗, 南優子	乳腺・内分泌外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Radio	Diagnostic performance of detecting breast cancer on computed radiographic (CR) mammograms : comparison of hard copy film, 3-megapixel liquid-crystal-display (LCD) monitor and 5-megapixel LCD monitor	Takayuki Yamada,Akihiko Suzuki,Nachiko Uchiyama,Noriaki Ohuchi,Shoki Takahashi	乳腺・内分泌外科
Breast Cancer	Intratumoral estrogen production in breast carcinoma:significance of aromatase	Takashi Suzuki,Yasuhiro Miki,Noriaki Ohuchi,Hironobu Sasano	乳腺・内分泌外科
胸部外科	食道癌サルベージ手術の周術期管理と合併症予防	亀井尚、宮崎修吉	食道外科
11th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus	Salvage Esophagectomy After Failure of Definitive Chemoradiotherapy for Esophageal Cancer—Clinical Outcomes and Operative Indication—	T,Kamei,S.Miyazaki,G.Miyata,K.Onodera,H.Ichikawa,T.Hoshida,H.Kikuchi,R.Kanba,T.Nakano,S.Satomi	食道外科
形成外科 vol51 page 1397-1406	口蓋裂二次修正術 二次的顎裂骨移植の適応と術式	今井 啓道	形成外科
日本手の外科学会誌 第25巻 3号 P100-103	家庭内災害による切断指の検討	鳥谷部 荘八	形成外科
日本手の外科学会誌 第29巻 3号 P159-164	関節切除固定術および指間形成術により治療した三括筋母指の一例	鳥谷部 荘八	形成外科
形成外科 vol52 page 977-982	先天性屈指症罹患指に 熱傷後瘢痕拘縮を生じた1例	鳥谷部 荘八	形成外科
Cancer Science	Loss of ER α isoforms expression and its correlation with aberrant DNA methylation of 5'-UTR region in human epithelial ovarian carcinoma	Suzuki F	産婦人科
Eur J Cancer Prev	Case-control study of coffee consumption and the risk of endometrial endometrioid adenocarcinoma.	Nagase S	産婦人科
Gynecol Endocrinol.	Elevated level of plasma vascular endothelial growth factor after gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for leiomyomata.	Takeda T	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.	“Robustness of the blind source separation with reference against uncertainties of the reference signals.”	Kimura Y	産婦人科
Oncol Reports	A phase II multicenter trial of concurrent chemoradiotherapy with weekly nedaplatin in advanced uterine cervical carcinoma: Tohoku Gynecologic Cancer Unit Study	Takano T	産婦人科
Syst Biol Reprod Med.	Assessing Centrosomal Function of Infertile Males Using Heterologous ICSI.	Terada Y	産婦人科
Cancer Res.	BAF180 is a critical regulator of p21 induction and a tumor suppressor mutated in breast cancer.	Nagase S	産婦人科
European Journal of Cancer Prevention.	Case-control study of coffee consumption and the risk of endometrial endometrioid adenocarcinoma.	Nagase S	産婦人科
Cancer Causes Control	Case-control study of green tea consumption and the risk of endometrial endometrioid adenocarcinoma.	Nagase S	産婦人科
Systems Biology in Reproductive Medicine	Centrosomal Function of Human Spermatozoa from Infertile Patients with Intracytoplasmic Sperm Injection System into Bovine Eggs Correlated with Embryonic Cleavage Rate and Pregnancy.	Terada Y	産婦人科
Acta Obstetricia et Gynecologica Scandinavia	Clinicopathological significance of circadian rhythm-related gene expression levels in patients with epithelial ovarian cancer.	Tokunaga H	産婦人科
The Open Reproductive Science Journal	Comparison of Reproductive Outcome of Falloposcopic Tuboplasty for the Proximal Tubal Obstruction with or without Chlamydia Trachomatis Infection.	Nabeshima H	産婦人科
Journal of mammalian ova research	Cytoskeletal dynamics during oocyte maturation and fertilization in primates with comparison to rodents.	Yaegashi N	産婦人科
American Journal of Reproductive Immunology	Development of human Graafian follicles following transplantation of human ovarian tissue into NOD/SCID/γ-cnull mice.	Terada Y	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Anatomy	Development of the human hypogastric nerve sheath with special reference to the topohistology between the nerve sheath and other prevertebral fascial structures.	Niikura H	産婦人科
Biochem Biophys Res Commun.	Drosophila arginine methyltransferase 1 (DART1) is an ecdysone receptor co-repressor.	Kimura Y	産婦人科
Biol Reprod.	Effect of the interaction between lipoxygenase pathway and progesterone on the regulation of hydroxysteroid 11-Beta dehydrogenase 2 in cultured human term placental trophoblasts.	Sato K	産婦人科
Endocrine-Related Cancer	Estrogen signaling ability in human endometrial cancer through the cancer-stromal interaction.	Niikura H	産婦人科
Cancer Science	Expression of retinoic acid receptors in human endometrial carcinoma	Takano T	産婦人科
Cancer Sci.	Expression of retinoic acid receptors in human endometrial carcinoma.	Niikura H	産婦人科
Cancer Science	Expression of vasohibin as a novel endothelium-derived angiogenesis inhibitor in endometrial cancer	Yoshinaga K.	産婦人科
Clinical Anatomy	Fetal development of the human gubernaculum with special reference to the fasciae and muscles around it.	Niikura H	産婦人科
Mol Reprod Dev.	Functional assessment of centrosomes of spermatozoa and spermatids microinjected into rabbit oocytes.	Terada Y	産婦人科
International Urogynecology Journal	Histotopography of the female cavernous nerve: a study using donated fetuses and adult cadavers.	Niikura H	産婦人科
Asian Journal of Andrology	Intramanchette transport during primate spermiogenesis: expression of dynein, myosin Va, MyRIP, and Rab27b in the manchette during human and monkey spermiogenesis.	Terada Y	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer science	Loss of estrogen receptor beta isoform expression and its correlation with aberrant DNA methylation of the 5'-untranslated region in human epithelial ovarian carcinoma.	Suzuki F,	産婦人科
American Journal of Pathology	Loss of Hrs in the Central Nervous System Causes Accumulation of Ubiquitinated Proteins and Neurodegeneration	Toyoshima M	産婦人科
International Journal of Gynecologic Cancer	Low response rate of second-line chemotherapy for recurrent or refractory clear cell carcinoma of the ovary: a retrospective Japan Clear Cell Carcinoma Study.	Yaegashi N	産婦人科
PLoS ONE	Maternal feeding controls fetal biological clock	Ohta h	産婦人科
Cancer Science	Midkine and its clinical significance in endometrial cancer	Nagase S	産婦人科
Cancer Science	Midkine and its clinical significance in endometrial carcinoma.	Nagase S	産婦人科
Computers in Cardiology	Non-invasive evaluation of opening and closing timings of the cardiac valves in the fetal cardiac cycle.	Kimura Y	産婦人科
Oncogene	PCDH8, the human homolog of PAPC, is a candidate tumor suppressor of breast cancer.	Nagase S	産婦人科
The Journal of Minimally Invasive Gynecology	Predicting outcome of one-step total hysteroscopic resection of sessile submucous myoma.	Terada Y	産婦人科
American Journal of Obstetrics and Gynecology	Prediction of preterm birth in symptomatic women using decision tree modeling for biomarkers.	Chisaka H	産婦人科
American Journal of Pathology	Role of nicotinic and estrogen signaling during experimental acute and chronic bladder inflammation	Martinez-Ferrer M	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Fertility and Sterility	Selective accumulation of PpIX and photodynamic effect after aminolevulinic acid treatment of human adenomyosis xenografts in nude mice.	Terada Y	産婦人科
Tohoku J Exp Med	Smoking, earlier menarche and low parity as independent risk factors for gynecologic cancers in Japanese: a case-control study.	Nagase S	産婦人科
The Journal of Minimally Invasive Gynecology	Successful total laparoscopic cystic adenomyomectomy after unsuccessful open surgery using transtrocac ultrasonographic guiding.	Nabeshima H	産婦人科
Cancer Science	The expression of retinoic acid receptors in human endometrial carcinoma	Niikura H	産婦人科
J Mamm. Ova Res.	The Relationship between genomic imprinting and ART	Arima T	産婦人科
Endocrine-Related Cancer	Tumor-Stromal Interaction through Estrogen Analyzed by GFP Assay in Human Endometrial Cancer	Niikura H	産婦人科
Molecular Endocrinology.	Upstream Stimulatory Factor-2 Regulates Steroidogenic Factor-1 Expression in Endometriosis.	Utsunomiya H	産婦人科
Fertility and Sterility	Uterine relaxation by sacral surface electrical stimulation on the day of embryo transfer.	Terada Y	産婦人科
Int J Gynecol Cancer.	Vesicouterine ligament contains abundant autonomic nerve ganglion cells: the distribution in histology concerning nerve-sparing radical hysterectomy.	Niikura H	産婦人科
Ultrasound Obstet Gynecol.	Validation of Quintero stage III sub-classification for twin-twin transfusion syndrome based on visibility of donor bladder: characteristic differences in pathophysiology and prognosis.	Murotsuki J	産婦人科
日本産婦人科内視鏡学会雑誌	産婦人科医学教育における腹腔鏡トレーニングボックスの導入の経験	寺田幸弘	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Heart View	【妊娠・出産と心臓病】識る 心疾患 妊娠の頻度と死亡率	高野忠夫	産婦人科
ナーシングケアQ&A	【徹底ガイド がん化学療法とケア Q&A】 各種がんの化学療法 各種がん におけるがん化学療法 婦人科がん における化学療法の実際について教 えてください	高野忠夫	産婦人科
産婦人科ホルモン療法マ ニュアル増刊号 産科と婦 人科	Ⅲ.腫瘍・類腫瘍 子宮内膜増殖症	廣木恵理	産婦人科
HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY	PCOSの外科的治療	荒井真衣子	産婦人科
日本産科婦人科学会雑 誌	Taxane/Platinum抵抗性再発卵巣癌に 対するIrinotecan/oral Etoposide併用 化学療法の有用性と安全性に関する 検討	八重樫伸夫	産婦人科
日本産科婦人科学会雑 誌	クリニカルカンファレンス 特殊型癌の診断と治療:子宮体部漿 液性腺癌	永瀬智	産婦人科
臨床腫瘍プラクティス	術後進行期分類と予後因子に基づく 子宮体がんの治療	高橋尚美	産婦人科
産科と婦人科	ヒトパルボウイルス	千坂 泰	産婦人科
日本産科婦人科学会雑 誌	ヒト上皮性卵巣癌におけるEstrogen receptor beta isoformsの発現について の検討	鈴木史彦	産婦人科
産婦人科の実際	メタボリックシンドロームは子宮筋腫発 症の危険因子か？	武田 卓	産婦人科
岩手県立病院医学会雑 誌	ラップディスクミニを用いて腹腔鏡下手 術を施行した巨大卵巣嚢腫5症例の検 討	西本光男	産婦人科
宮城県対がん協会報「とも しび」	伊藤 潔 子宮がんに関わる最近の話 題—コーヒー摂取と子宮体がん発症リス クなど—	伊藤潔	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biophilia	光環境が早産児・新生児の脳に与える影響:新しい光受容体「メラノプシン」のもつ意味	太田英伸	産婦人科
日本癌治療学会誌	再発危険因子を有する子宮頸部腺癌Ib-II期に対する術後化学療法の意義 三海婦人科癌スタディーグループ/東北婦人科腫瘍研究会多施設共同研究	高野忠夫	産婦人科
中外医学社、東京	子宮体癌、子宮肉腫. 産婦人科学テキスト(倉智博久、吉村泰典編集)	伊藤潔	産婦人科
金原出版、東京	子宮体癌:早期がんの補助療法. 婦人科がん標準化学療法の実際(宇田川康博、八重樫伸生編集)	伊藤潔	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	子宮体癌Stage IIIc期における傍大動脈リンパ節郭清の臨床的意義	高野忠夫	産婦人科
産婦人科治療	子宮体癌とエストロゲン 特集:子宮癌 Up to Date	伊藤潔	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	子宮体癌におけるミッドカインの発現と臨床的意義	新倉仁	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	子宮体部肉腫および癌肉腫の診断と治療 子宮癌肉腫の病態とそれを踏まえた治療戦略	豊島将文	産婦人科
臨床婦人科産科	子宮内膜症治療の問題点	荒井真衣子	産婦人科
産婦人科治療	子宮内膜症性疼痛の手術療法	寺田幸弘	産婦人科
日本癌治療学会誌	子宮頸部癌に対する放射線療法の意義	高野忠夫	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	子宮頸部腺癌に対する術後補助療法としての化学療法、放射線療法、放射線化学療法の治療成績	八重樫伸夫	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床腫瘍プラクティス	術後進行期分類と予後因子に基づく子宮体がんの治療	高橋尚美	産婦人科
Osteoporosis Japan	生活習慣(食生活)が骨粗鬆症のエピジェネティックな変異に及ぼす影響についての症例対照研究	有馬 隆博	産婦人科
知覚・認知の発達心理学入門-実験で探る乳児の認識世界, 北大路書房(山口真美, 金沢創 編集)	早産児・新生児の視覚環境	太田英伸	産婦人科
臨床婦人科産科	多嚢胞性卵巣症候群(PCOS)の排卵誘発方法は?	荒井真衣子	産婦人科
産婦人科治療	婦人科悪性腫瘍とエストロゲン 特集: ホルモン療法—最近の話題—	伊藤潔	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	婦人科悪性腫瘍とエストロゲン 日本産科婦人科学会教育講演	伊藤潔	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	婦人科癌の治療標準化を目指して 婦人科医としての役割	高野忠夫	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌	腹膜偽粘液腫に関する後方視的検討 治療の実態及び予後因子についての多施設共同研究	高野忠夫	産婦人科
岩手県立病院医学会雑誌	卵管水腫に対する腹腔鏡下手術後に妊娠に至った卵管性不妊症の3症例	鍋島寛志	産婦人科
日本外科系連合学会誌	膀胱子宮靱帯後層周囲の神経節細胞の分布	新倉仁	産婦人科
周産期医学	出生前診断と情報提供-骨系統疾患	室月淳	産婦人科
日産婦誌	胎児奇形の診断を受けた両親のためのケア	室月淳	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産と婦	死産の定義と世界の現状.	室月淳	産婦人科
産婦実際	妊婦と胎児の画像診断up-to-date-- 胎児四肢, 骨格異常	室月淳	産婦人科
Early Intervention in Psychiatry	Clinical practice and research activities for early psychiatric intervention at Japanese leading centers	松本和紀	精神科
Organ biology	小腸移植:わが国の現状と展望	和田 基 仁尾 正記 他	小児外科
Neonatal Care	小児腸管不全の治療と在宅静脈栄養	和田 基 仁尾 正記 他	小児外科
Int J Dermatol	Erythema multiforme-like lesions associated with lesional infiltration of tumor cells occurring with adult T-cell lymphoma/leukemia	Ohtani T	皮膚科
臨床皮膚科	臀部慢性膿皮症に併発した有棘細胞 癌の2例	大谷朋之	皮膚科
Br J Dermatol.	Noninvasive biophysical assessments of the efficacy of a moisturizing cosmetic cream base for patients with atopic dermatitis during different seasons.	Kikuchi K	皮膚科
日本環境感染学会誌	MPCポリマー配合ゲル状速乾性擦式 アルコール手指消毒剤使用による皮 膚機能変化の検討	菊地克子	皮膚科
皮膚の科学	合成繊維メディエル素材肌着のアト ピー性皮膚炎患者に対する効果	小澤麻紀	皮膚科
Acta Derm Venereol	p63 Constitutes a Useful Histochemical Marker for Differentiation of Pagetoid Bowen's Disease from Extramammary Paget's Disease	目々澤 愛	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床皮膚科	頭部に生じ、bcl-2強陽性、MUM-1陽性であった原発性皮膚大型B細胞リンパ腫の1例	浅野 雅之	皮膚科
J Biol Chem 283: 34241-34249, 2008.	p63-induced onset of keratinocyte differentiation via the c-Jun-N terminal kinase pathway is counteracted by keratinocyte growth factor.	Okuyama R, Ogawa E, Egawa T, Nagoshi H, Obinata M, Tagami H, Ikawa S, Aiba S.	皮膚科
Acta Derm Venereol 88: 619-620, 2008.	p63 constitutes a useful histochemical marker for Pagetoid Bowen's disease to be differentiated from extramammary Paget's disease.	Memezawa A, Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
Clin Exp Dermatol 34: 161-165, 2008.	Pseudolymphomatous angiokeratoma: Report of three cases and an immunohistological study.	Okuyama R, Masu T, Mizuashi M, Watanabe M, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
Acta Derm Venereol 88: 395-396, 2008.	Spontaneous regression of generalized angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia in a 2-year-old boy.	Koizumi H, Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
British J Dermatol 158: 1256-1263, 2008.	Profiles of FOXP3 regulatory T-cells (Tregs) in dermatitis, psoriasis vulgaris and mycosis fungoides.	Fujimura T, Okuyama R, Ito Y, Aiba S.	皮膚科
Dermatology 217: 121-123, 2008.	Amicrobial pustulosis of the folds affecting a young male without any accompanying autoimmune diseases.	Okuyama R, Masu T, Kumasaka N, Kagatani S, Aiba S, Tagami H.	皮膚科
J Eur Acad Derm Venereol 22: 1370-1372, 2008.	Linear lichen planus distributed in the lines of Blaschko developing during intramuscular triamcinolone acetonide therapy for alopecia areata multiplex.	Numata Y, Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
J Dermatol 35: 120-121, 2008.	Therapy-resistant skin ulcers on hypoplastic leg associated with neurofibromatosis type 1.	Fujimura T, Okuyama R, Aiba S.	皮膚科
J Dermatol 35: 126-128, 2008.	Perifollicular fibroma: A case successfully diagnosed with the deeply cut section.	Ogawa E, Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
J Dermatol 35: 124-125, 2008.	Angioleiomyoma with the features of the dermatofibroma.	Fujimura T, Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
Oncogene 27: 848-856, 2008.	p51/p63 inhibits ultraviolet B-induced apoptosis via Akt activation.	Okuyama R, Ogawa E, Ikawa S, Nagoshi H, Egawa T, Kurihara A, Yabuki M, Tagami H, Obinata M, Aiba S.	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Dermatol Science 49: 187-194, 2008.	Notch signaling: its role played in the epidermal homeostasis and in the pathogenesis of the skin diseases.	Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
Acta Derm Venereol 88: 69-70, 2008.	Eosinophilic granulomatous reaction after intradermal injection of hyaluronic acid.	Okada S, Okuyama R, Tagami H, Aiba S.	皮膚科
西日本皮膚科 70: 265-268 2008.	Pencil-core granulomaの1例	菅原正幸	皮膚科
update Monthly Book Derma. 140: 50-54 2008.	免疫抑制剤;皮膚疾患薬物療法	奥山隆平	皮膚科
臨床皮膚科 62: 109-111 2008.	S状結腸癌を伴った外陰部Paget病の1例	舩貴志 他	皮膚科
西日本皮膚科 70: 145-147 2008.	シクロスポリンを内服していた汎発性膿疱性乾癬患者の妊娠・分娩の1例	小川英作 他	皮膚科
Acta Derm Venereol 88:633-634.	Rapidly growing cobblestone-like nodules as a manifestation of myeloid sarcoma.	Nakagawa S, Tagami H, Ichinohasama R, Aiba S	皮膚科
Int Arch Allergy Immunol 148:239-250.	Molecular events in human T cells treated with diesel exhaust particles or formaldehyde that underlie their diminished interferon-gamma and interleukin-10 production.	Sasaki Y, Ohtani T, Ito Y, Mizuashi M, Nakagawa S, Furukawa T, et al.	皮膚科
Am J Ophthalmol.2008	Comparative Therapy Evaluation of Intravitreal Bevacizumab and Triamcinolone Acetonide on Persistent Diffuse Diabetic Macular Edema.	Masahiko Shimura,Toru Nakazawa,Kanako Yasuda,Takahashi Shiono,Tomohiro Iida,Taiji Sakamoto,Kohji Nishida	眼科
J Tissue Eng Regen Med 2008-2 445-449	Human adipose tissue-derived mesenchymal stem cells as a novel feeder layer for epithelial cells.	Sugiyama H, Maeda K, Yamato M, Hayashi R, Soma T, Hayashida Y, Yang J, Shirakabe M, Matsuyama A, Kikuchi A, Sawa Y, Okano T, Tano Y, Nishida K	眼科
Br J Ophthalmol.2008.5	Sulphation Patterns of Keratan Sulphate in Different Macular Corneal Dystrophy Immunophenotypes using Three Different Probes.	Saito T, Nishida K, Nakayama J, Akama TO, Fukuda MO, Watanabe K, Quantock AJ, Maeda N, Watanabe K, Tano Y	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Eye Res 2008 1-6	Differential expression of MUC16 in human oral mucosal epithelium and cultivated epithelial sheets.	Y.Hori Y,Nishida K,Yamato K,Sugiyama H,Soma T,Inoue T,Maeda N,Okano T,Tano Y	眼科
Am J Ophthalmol.2008	Expression of Vasohibin,an Antiangiogenic Factor,in Human Choroidal Neovascular Membranes.	Wakusawa R,Abe T,Sato H,Yoshida M,Kunikata H,Sato Y,Nishida K	眼科
Br J Ophthalmol.Mar92(3)404-10.2008	Abnormal Keratocytes and Stromal Inflammation in Chronic Phase of Severe Ocular Surface Diseases with Corneal Stem Cell Deficiencies.	Saito T,Nishida K,Sugiyama H,Yamato M,Maeda,Okano T,Tano Y	眼科
Biochem Biophys Res Commun.Mar 7;367(2):256-63.2008.	Enrichment of corneal epithelial stem/progenitor cells using cell surface markers,integrin alpha6 and CD71.	Hayashi R,Yamato M,Saito T,Oshima T,Okano T,Tano Y,Nishida K	眼科
J Neurosci Res.Jan;86(1):136-44.2008:	ERK1 plays a critical protective role against N-methyl-D-aspartate-induced retinal injury.	Nakazawa T,Shimura M,Ryu M,Nshida K,Pages G,Pouyssegur J,Endo S	眼科
<i>Eur Arch Otorhinolaryngol</i>	The effects of mastoid aeration on autophony in patients with patulous eustachian tube.	Chia-Der Lin	耳鼻咽喉・頭頸部外科
<i>Acta otolaringol</i>	Magnetic resonance imaging of the eustachian tube cartilage.	Takeshi Oshima	耳鼻咽喉・頭頸部外科
<i>Acta otolaringol</i>	Ototoxic interaction of kanamycin and 3-nitropropionic acid.	Chia-Der Lin	耳鼻咽喉・頭頸部外科
<i>Nature structural & molecular biology</i>	Bach1 inhibits oxidative stress-induced cellular senescence by impeding p53 function on chromatin.	Yoshihiro Dohi... Ayako Nakanome,... Kazuhirko Igarashi	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Radiat Med.	Validation of the use of calibration factors between the iodine concentration and the computed tomography number measured outside the objects for estimation of iodine concentration inside the objects:	Takanami	量子診断学
Clin Nucl Med.	FDG PET for esophageal cancer complicated by sarcoidosis mimicking mediastinal and hilar lymph node metastases: two case reports.	Takanami	量子診断学
Clin Nucl Med.	Q fever with lymphadenopathy on F-18 FDG PET.	Takanami	量子診断学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
European radiology.	High-resolution monochrome liquid crystal display versus efficient household colour liquid crystal display: comparison of their diagnostic performance with unenhanced CT images in focal liver lesions.	Kawasumi	量子診断学
European radiology.	Diagnostic performance of detecting breast cancer on computed radiographic (CR) mammograms: comparison of hard copy film, 3-megapixel liquid-crystal-display (LCD) monitor and 5-megapixel LCD	Yamada T,	量子診断学
Annals of nanoBME	Analysis of vascular structure using dual MDCT: Evaluation of 3 and 4 dimensional morphology of vascular structure and analysis of organic blood perfusion. In: Global Nano-Biomedical Engineering Education and Research Network.	Takahashi S,	量子診断学
Eur Radiol	High-resolution monochrome liquid crystal display: comparison of their diagnostic performance with unenhanced CT images in focal liver lesions	kawasumi	量子診断学
Jpn J Radiol	Comparison of cisplatin and 5-fluorouracil chemotherapy protocols combined with concurrent radiotherapy for esophageal cancer	sakayauchi	放射線腫瘍学
東北大学医学部保健学科紀要	21回のI-131 内証者療法により30年以上の生存を得た甲状腺濾胞癌骨転移の一症例	坂谷内徹	放射線腫瘍学
日本集中治療医学会雑誌	小児用気管チューブの気道内圧とチューブ先端圧の比較.	亀山良亘	重症病棟部
Tohoku J Exp Med.	Sepsis is characterized by the increases in percentages of circulating CD4+CD25+ regulatory T cells and plasma levels of soluble CD25.	Saito Koji	重症病棟部
病理と臨床. 26: 104-110. 2008.	【外科病理マニュアル】総論 テレパノロジーの現状.	渡辺みか	病理部
Brain Tumor Pathology. 25: 47. 2008.	脳腫瘍の術中診断 脳腫瘍の術中迅速病理診断内容の解析 悪性度と組織型の相違例に関する検討.	渡辺みか 隈部俊宏 金森政之 園田順彦 富永悌二 笹野公伸	病理部
日本腎臓学会誌. 50: 341. 2008	新たな脂肪染色の検討	望月静枝 石田和之 鍛冶光司 渡辺みか 斎藤喬雄 笹野公伸	病理部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨時増刊号 外科病理マ ニュアル. 26: 104-110. 2008.	テレパソロジーの現状. 病理と臨床	渡辺みか	病理部
日本臨床細胞学会雑誌. 47: 386. 2008	尿細胞診の精度を考える 尿細胞診の 診断向上を目的とした精度管理	三浦弘守 渡辺みか 山口輝子 安達友津 安田奈津子 石田和之 荻谷嘉之 笹野公伸 東岩井久	病理部
Horm Metab Res. 41: 30- 34. 2009.	DAX-1A (NR0B1A) expression levels are extremely low compared to DAX-1 (NR0B1) in human steroidogenic tissues.	Nakamura, Y Vargas Morris, C Sasano, H Rainey, W E	病理部
Endocr J. 56: 39-44. 2009.	Nuclear receptor DAX1 in human prostate cancer: a novel independent biological modulator.	Nakamura, Yasuhiro Suzuki, Takashi Arai, Yoichi Sasano, Hironobu	病理部
Rev Endocr Metab Disord. 10: 19-26. 2009.	Adrenal changes associated with adrenarche.	Nakamura, Yasuhiro Gang, Hui Xiao Suzuki, Takashi Sasano, Hironobu Rainey, William E	病理部
Cryobiology. 57:178-181, 2008.	Quality evaluation of umbilical cord blood progenitor cells cryopreserved with a small-scale automated liquid nitrogen system.	三浦淳子、峯岸正好	輸血部
J.Chromatogr.B, 870, 38- 45 (2008)	Simple quantification of lansoprazole and rabeprazole concentrations in human serum by liquid chromatography/tandem mass spectrometry	山口浩明	薬剤部
Jpn.J.Pharm.Health Care Sci., 34, 522-529 (2008)	Data mining for medicines brought to hospital by inpatients and evaluation of pharmacists' checking of medication by doctors and nurses (J)	眞野成康	薬剤部
J Drug Inter.Res., 32, 33- 37 (2008)	Clinical evaluation of substitution from branded product (BEZATOL®SR) to generic product (BEZATATE®SR) among patients with dyslipidemia (J)	眞野成康	薬剤部
Xenobiotica, 38, 1487- 1499 (2008)	Expression of a skin cholesterol sulfotransferase, St2b2, is a trigger of epidermal cell differentiation	島田美樹	薬剤部
J.Pharmacol.Exp.Ther., 327, 789-798 (2008)	Involvement of ST1B subfamily of cytosolic sulfotransferase in kynurenine metabolism to form natriuretic xanthurenic acid sulfate	島田美樹	薬剤部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol.Cancer Ther., 7, 3092-3102 (2008)	Contribution of the drug transporter ABCG2 (breast cancer resistance protein) to resistance against anticancer nucleosides	山口浩明	薬剤部

計202

1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記載すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 里見進
管理担当者氏名	総務課長 高橋正幸 医事課長 八木巻一男

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	病院日誌	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 病歴資料についてはカルテ等を入院・外来毎に1患者1ファイル方式により15年間保存として管理している。
	各科診療日誌	各診療科	
	処方せん	薬剤部	
	手術記録	手術部	
	看護記録	看護部	
	検査所見記録	医事課	
	エックス線写真	各診療科	
	紹介状	各診療科	
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	各診療科及び医事課	
	入院診療計画書	医事課	
病院の管理及び運営に関する記録	従事者数を明らかにする帳簿	総務課	ファイル形式 紙媒体
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課及び医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	

(様式第12)

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び 運営に関する諸 記録	規則第9 条の23 及び第1 条の11 各号に掲 げる体制 確保の状 況	専任の医療に係る安全管理 を行う者の配置状況	医事課	ファイル形式 紙媒体
		専任の院内感染対策を行う 者の配置状況	医事課	
		医療に係る安全管理を行う 部門の設置状況	医事課	
		当該病院内に患者からの安 全管理に係る相談に適切に 応じる体制の確保状況	医事課	
		医療に係る安全管理のため の指針の整備状況	医事課	
		医療に係る安全管理のため の委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のため の職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報 告等の医療に係る安全の確 保を目的とした改善のため の方策の状況	医事課	

(様式第12)

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び 運営に関する諸 記録	規則第1 条の11 各号に掲 げる体制 確保の状 況	院内感染のための指針の策 定状況	感染管理室	ファイル形式 紙媒体
		院内感染対策のための委員 会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対 策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告そ 他の院内感染対策の推進 を目的とした改善のため の方策の実施状況	感染管理室	
		医薬品の使用に係る安全な 管理のための責任者の配置 状況	医薬品安全管 理室	
		従業者に対する医薬品の安全 使用のための研修の実施 状況	医薬品安全管 理室	
		医薬品の安全使用のための 業務に関する手順書の作成 及び当該手順書に基づく業 務の実施状況	医薬品安全管 理室	
		医薬品の安全使用のため 必要となる情報の収集そ 他の医薬品の安全使用を 目的とした改善のため の方策の実施状況	医薬品安全管 理室	
		医療機器の安全使用のため の責任者の配置状況	医療機器安全 管理室	
		従業者に対する医療機器 の安全使用のための研修の 実施状況	医療機器安全 管理室	
		医療機器の保守点検に関す る計画の策定及び保守点 検の実施状況	医療機器安全 管理室	
		医療機器の安全使用のため 必要となる情報の収集そ 他の医療機器の安全使用 を目的とした改善のため の方策の実施状況	医療機器安全 管理室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 里見 進
閲覧担当者氏名	総務課長 高橋 正幸 ・ 医事課長 八木巻一男
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	85.8%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		18,578 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,583 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,274 人
	D: 初診の患者の数		26,202 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無		
<p>・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 委員会等の組織に関する基本的事項 職員研修に関する基本方針 発生状況の報告に関する基本方針 感染症発生時対応に関する基本方針 指針の閲覧に関する基本方針 その他の必要な基本方針</p>			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年22回		
<p>・ 活動の主な内容： ○感染対策委員会（11回） ○感染対策実務委員会（11回）</p> <p>サーベイランス対象菌種検出症例数報告 ICTニュースの通知 針刺し切創・体液曝露報告 感染管理セミナー 抗菌薬使用状況報告 ICTラウンド報告</p>			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年21回		
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 感染管理オリエンテーション（1回） 迫り来る感染症の脅威（1回） 今どきの感染対策（3回） 検査からみえる感染管理（1回） 薬物血中濃度測定の基本（1回） 感染予防における基礎教育の必要性（1回） インフルエンザと肺炎（1回） インフルエンザ流行時における医療施設の対応（1回） 呼吸器感染症予後を決める宿主要因について（1回） 抗トリ・インフルエンザウイルス薬の開発状況（1回） </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 当院の薬剤感受性について（1回） 呼吸器学会の院内肺炎診療ガイドライン改訂版について（1回） β・ラクタマーゼによる薬剤耐性について（1回） 市中におけるアンチバイオグラムについて（1回） 感染症の基礎知識（1回） 抗菌薬の基礎知識（1回） 当院における針刺し・切創・体液曝露例から学ぶ留意点（1回） インフルエンザのタミフル耐性（1回） パンデミックインフルエンザ（1回） </td> </tr> </table>		感染管理オリエンテーション（1回） 迫り来る感染症の脅威（1回） 今どきの感染対策（3回） 検査からみえる感染管理（1回） 薬物血中濃度測定の基本（1回） 感染予防における基礎教育の必要性（1回） インフルエンザと肺炎（1回） インフルエンザ流行時における医療施設の対応（1回） 呼吸器感染症予後を決める宿主要因について（1回） 抗トリ・インフルエンザウイルス薬の開発状況（1回）	当院の薬剤感受性について（1回） 呼吸器学会の院内肺炎診療ガイドライン改訂版について（1回） β・ラクタマーゼによる薬剤耐性について（1回） 市中におけるアンチバイオグラムについて（1回） 感染症の基礎知識（1回） 抗菌薬の基礎知識（1回） 当院における針刺し・切創・体液曝露例から学ぶ留意点（1回） インフルエンザのタミフル耐性（1回） パンデミックインフルエンザ（1回）
感染管理オリエンテーション（1回） 迫り来る感染症の脅威（1回） 今どきの感染対策（3回） 検査からみえる感染管理（1回） 薬物血中濃度測定の基本（1回） 感染予防における基礎教育の必要性（1回） インフルエンザと肺炎（1回） インフルエンザ流行時における医療施設の対応（1回） 呼吸器感染症予後を決める宿主要因について（1回） 抗トリ・インフルエンザウイルス薬の開発状況（1回）	当院の薬剤感受性について（1回） 呼吸器学会の院内肺炎診療ガイドライン改訂版について（1回） β・ラクタマーゼによる薬剤耐性について（1回） 市中におけるアンチバイオグラムについて（1回） 感染症の基礎知識（1回） 抗菌薬の基礎知識（1回） 当院における針刺し・切創・体液曝露例から学ぶ留意点（1回） インフルエンザのタミフル耐性（1回） パンデミックインフルエンザ（1回）		
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況			
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： ICTラウンドの実施</p>			

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 抗がん剤の取り扱いについて 薬物血中濃度測定の基本 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○) ・ 無) ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医薬品の採用、購入、管理、情報収集・管理、提供 ○病棟・各部門への医薬品の提供 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医薬品安全管理室が医療安全巡視を実施 (年 2 回) ○病棟または外来診療科への巡視を薬剤師が月 1 回実施 ○医薬品添付文書改訂に伴う注意事項についての情報を通知 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 輸液、シリンジポンプの使用方法に関すること。</p> <p>② MRI装置の安全性に関すること。</p> <p>③ 経腸栄養ポンプの安全使用に関すること。</p> <p>④ 診療用高エネルギー放射線治療装置の有有用性・安全性・品質管理に関すること。</p> <p>⑤ 人工呼吸器の安全使用に関すること。</p> <p>⑥ 補助循環装置の安全使用に関すること。</p> <p>⑦ 持続的血液濾過透析の安全使用に関すること。</p> <p>⑧ 除細動器の安全使用に関すること。</p> <p>⑨ 手術台の安全使用に関すること。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 ((有)・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>① 始業点検・終業点検・日常点検・定期点検</p> <p>② 施設内部点検 (人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、低圧持続吸引器、間欠的空気圧迫装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ等)</p> <p>③ 外部委託点検 (乳房撮影装置、透視撮影装置、血管撮影装置、CT装置、MRI装置、診療用高エネルギー放射線治療装置 (直線加速器)、診療用放射線照射装置 (マイクロセレクトロン)、PET/CT装置、除細動装置、人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、閉鎖式保育器)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① シリンジポンプ、輸液ポンプの院内統一機種を採用を行ない、安全かつ効率的な運用を図る。</p> <p>② 毎月第一木曜日を「医療機器点検の日」と定め、毎月のテーマごとに院内の医療機器の一斉点検を行なっている。</p> <p>③ AEDの消耗品有効期限等を調査し安全な運用を図る。</p> <p>④ 蘇生器の点検および滅菌管理。</p>	